

令和3年度 第1回 八千代市学校適正配置検討委員会

日時 令和3年7月5日 17時30分から18時45分
場所 八千代市教育委員会 大会議室
議題 (1) 八千代市としての小中一貫教育の推進について

公開又は
非公開の別 公開

出席者 <以下敬称略>
大山 光晴, 稲毛 英三, 切替 基貴, 八巻 憲一, 落合 啓子
山本 正義, 田中 陽子, 丸山 太郎, 安原 幸雄, 崎村 知生, 鈴木 介人

事務局 教育次長 長島 秀一, 学務課長 設楽 憲一, 指導課長 高木 雅晴
保健体育課長 加藤 英昭, 学務課主幹 瀬口 朗子, 学務課主査補 渡邊 和紀
学務課主任主事 笹田 裕介, 学務課主任主事 片桐 庸至

傍聴者 なし(定員3名)

委員長 適正配置検討委員会の会議は、久しぶりになります。勤務している大学も昨年4月から半年間オンラインとなっており、それ以降もオンラインと対面の両方で実施している状況でございます。

2週間前に利根川沿いにある茨城県河内町のかわち学園という義務教育学校を訪問し、授業をさせていただきました。大学の卒業生からの連絡があり、新しい学習指導要領が始まっているので授業を展開してほしいとのこととお伺いしました。新学習指導要領では、小学校では「追究」中学校・高校では「探究」を求められている中で、義務教育学校の7年生を対象に、理科の授業で探究的な授業を展開させていただきました。

また今回声をかけてくださった先生は、5年生と7年生(中学1年生)の授業を持っているそうです。小中一貫教育については、現実にそのような学校が動いており、先生方も色々と研究をしているところです。

本日は委員の皆様にご協賛いただき、八千代の教育が少しでも前に進んでよいものになりますよう、皆様のお知恵をお借りしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは会議次第にのっとり、議事に移ります。議事(1)八千代市としての小中一貫教育の推進について、事務局から説明をお願いします。

事務局 令和元年度の第2回会議においては、八千代市内中学校の適正規模に係る現状の把握として、高津・緑が丘地域の情報を共有した後、八千代市としての小中一貫教育の推進について協議を進めてまいりました。

適正配置検討委員会で「小中一貫教育についての検討」を進めている理由として、適正規模を維持するひとつの方法として統合が挙げられます。それを行う際にはただ統合することではなく、子ども達により良い教育環境を提供することを考えると、小中一貫校として統合することも一つの選択肢となってきます。そこで、小中一貫教育について適正配置検討委員会でも審議し、今後適正配置を検討する一つの材料として見識を深めていくというねらいがあります。今回協議された内容は、今後、八千代市で小中一貫教育を進めていく際の方針としてまとめて、教育長へ報告をしていく予定です。

八千代市第5次総合計画前期基本計画においては、基本方針として、「通学区域を見直し小中学校の規模の適正化を図るとともに、教育的及び全市的な観点から小中学校の適正配

置を検討します。また、老朽化が進んだ学校施設等の改修等を進めます。教育内容や相談・支援体制などを充実させるとともに、ESDを推進し、子どもたちのよさや可能性を引き出し伸ばす教育、持続可能な社会の創り手を育てる教育に取り組みます。」と示されています。

また、施策内容として、学校の適正配置については、「地域における宅地等の開発状況及び児童生徒数の動向を把握しながら、通学区域の見直しなどを慎重に検討し学校規模の適正化を図るとともに、教育的及び全市的な観点から義務教育学校等の設立を検討し、小中一貫教育を推進します。」と示されています。

現在、阿蘇・米本地域義務教育学校が令和4年4月の開校に向けて、設立準備委員会において、保護者・地域の代表者を委員として協議を進めております。市内で初めての義務教育学校開校に向け、適正配置検討委員会では、先進校である市川市の塩浜学園、成田市の下総みどり学園の視察等を行い、市としても研究を進めてまいりました。また、今年度は4月に成田市立大栄みらい学園が開校しております。来年4月に開校する阿蘇・米本地域の義務教育学校は県内で4校目の義務教育学校となります。教育課程等につきましては、現在も設立準備委員会で協議が進められている段階ではありますが、これまで研究されてきたこととともに、本日協議される内容が阿蘇・米本の義務教育学校の子どものより良い教育環境にもつなげていければと思っております。

なお、現在八千代市では、「小中連携教育」については、村上小学校と村上中学校、睦小学校と睦中学校の2地区で研究が行われているところです。

八千代市の公共施設等個別施設計画（第5章 施設分類別の利用状況・コスト状況）においては、「公共施設等の全体最適化を図るためには、学校施設における取り組みが非常に重要になる」とされております。「学級数の減少により余裕教室が増えている場合は、学校施設へ他の公共施設・機能を複合化することで、施設の有効活用と総量削減を図ります。検討の際には利用者の動線等、安全性への配慮を前提条件として検討します。また、すでに小規模化している学校や、将来小規模化する見込みの学校については、引き続き、適正規模・適正配置（統合）を検討していきます。」と示されております。

現在、他市でも小中一貫教育についての検討もされているところです。前回は資料で提示させていただきましたが、今回の協議の内容としましては、八千代市の小中一貫教育の方針を協議していただきたいと思っております。

令和元年度第2回の適正配置検討委員会にて、八千代市としての小中一貫教育を進める視点について、3グループに分かれて協議を行いました。今回は、前回いただきました御意見を基に、小中一貫を進める3つの視点を素案としてまとめました。初めに、素案にあります「3つの視点」について協議をしていただきたいと思っております。3つの視点についての御意見を伺った後、それらを実現するための具体的な方策について協議をしていただければと思っております。特に今回は、地域の代表者の方々に多くお集まりいただいておりますので、地域とのつながりの部分について、各地区の現状を踏まえて、小中一貫教育においてどのような連携が可能なのか協議をお願いいたします。

次回の会議では、八千代市全体の児童生徒数の現状等の資料をご覧いただきながら、今後の小中一貫教育の可能性について、御意見をいただければと考えております。

委員長 これまでの会議の経緯、小中一貫教育についての説明がありましたが、御意見・御質問はありますか。

委員 特になし

委員長 「八千代市の小中一貫教育の方針（素案）」の3つの視点について、御意見・御質問はありますか。

委員 1つ目の視点「確かな学力・豊かな心」がありますが、「学力の3要素」として考えるのであれば、「健やかな体」が入ってもよいのではないのでしょうか。健康づくり、体作りについても考えてはいかがでしょうか。

委員 小中一貫になると9年間を通じて、どのように体作りを行うかも大事になってくると思います。

委員長 皆様、いかがでしょう。うなずいている方も多いようです。「確かな学力」「豊かな心」に「健やかな体」を入れることを提案します。事務局いかがでしょうか。

事務局 文部科学省からも示されている内容ですので、1つの視点として検討させていただきます。また、文言につきましては、八千代市の教育大綱等と確認をしながら調整をまいります。

委員 通学路において交通事故が発生しました。これは全国的な規模での社会現象となっていると捉えています。視点の3つ目として、地域とのつながりの中に「安全」という言葉が入っていますが、「登下校の児童生徒をどう守っていくか」ということが抜けているので、いれてはどうでしょう。

委員長 先日の事故については、心が痛みました。小中一貫に関わらず、踏まえるべき内容であると考えております。それについて、教育委員会としても対応してくださると思います。地域における具体策については、この後の協議でお話をいただければと思います。

委員 「地域とのつながり」の中で、今後先を見据えるとともにESDの推進という視点を取り入れるのであれば、「コミュニティスクール」というキーワードも必要になってくるのではないのでしょうか。

委員長 9年間という長い期間で子どもたちを見守っていく中で、「コミュニティスクール」ということも検討して行ってほしいと思います。

委員 「歴史文化を核にした地域交流」という言葉があるが、教育重点施策の中に「教育を核とした持続可能な地域社会」というような言葉もあるので、スポーツや芸能といったことも含めてはいかがでしょうか。

委員長 地域スポーツにも目を向けることは必要で、先に出された「健やかな体」にも通じるころがあると感じます。

委員 「地域の人が参画できる」というのは学校の目線であり、地域の人に来てくださいねというイメージを持ちます。学校支援事業の一環として、夏休みに段ボールキャンプや地域でのボランティア活動に児童生徒に参加してもらったり、地域の盆踊りなどに部活動単位で参加をしてもらったりしているので、地域に対して「学校も出ていきますよ」「児童生徒も地域に出て行って、地域の困りごとを解決していきますよ」という「お互い様」のような良い関係づくりが言葉からも見えると良いのではないのでしょうか。

委員長 このような会議の良いところは、様々な角度から御意見をいただけることだと改めて感じます。教育委員会の目線で作成したものを委員の皆様に見ていただき、協議をしていく中で、お互いの理解を深めていけるところだと感じております。

委員 3つ目の視点の「地域における防災教育」についても、「防災」にこだわることなく、「地域に貢献できる児童生徒の育成」といった表現にはいかがでしょうか。その方がより広い視点で捉えられるのではないのでしょうか。

委員長 ここまで、3つの視点について、色々な御意見をいただいていたところではありますが、小中一貫教育で実際に具体的にどのようなことが実践できるかというグループ協議をさせていただければと思います。

(3グループに分かれての協議)

<第1グループ>

- ・「地域における防災教育」の部分については、SDGsの項目と同様に幅広く捉えたい。
- ・『「持続可能な」小中一貫教育』という表現の方が適切なのではないか。
- ・「持続可能な取り組み(目標)」の下に、他の2つがぶら下がるようなイメージはどうか。
- ・ESDについては、下に注を入れて多くの人にわかるようにした方が丁寧ではないか。
- ・地域と学校・子どもとのつながりは今の段階では薄い気がする。どうつながっていくかという施策が必要なのではないか。自分の子どもが学校に通っているというだけの人が多い。
- ・自分の地域に小中一貫校(義務教育学校)ができれば地域の目は変わるのか。
- ・地域に「協力してくださいね」ではなく、学校から「こんな協力できますよ」という提案・仕組みがあるとやりやすくなるのではないか。小学生だけではできないことが中学生も同じ学校にいて、できることも多いと思う。

<第2グループ>

- ・SDGsの考え方、八千代市の重点目標からESDを持ってきていることから、持続可能な取り組み(目標)・ESDの推進については、この3つの視点においては、上位概念とした方が良いのではないか。
- ・教科担任制について、英語・理科・社会科等で専科の教員を配置している学校もある。小学校段階で教科担任制を実施することによって、中学生になって急に教科担任制となることはなくなる。
- ・これまでは「小学校と関わる」「中学校と関わる」という考え方だったが、9年間を通じて考えると、地域と連携し地域人材を活用することによって質の高い教育活動が可能となるのではないか。
- ・9年間のゴールを見据えた教育活動が重要になってくるのではないか。
- ・「地域とのつながり」については、9年間だけの繋がりではなく、「一生地域と関わっていく」という考え方の方が良い。小学校から中学校へ上がる際に、地域によっては学校が分かれてしまうため、地域への気持ちが薄れてしまう心配がある。一方で、小さい小学校がそのまま残るよりは、ある程度統合して、それなりの人数がいる学校の方が良い。

<第3グループ>

- ・学校を積極的に公開することが、お互いを知っていくことにつながると考える。
- ・ボランティア活動や挨拶活動、地域清掃活動、見守り隊などがきっかけになるのではないか。
- ・学校と地域の関係性が弱くなってきているように感じている。どう連携していくか、連携のための話し合いの場をどう設定していくかが課題である。教育が接着剤のような役割になれば良い。
- ・コミュニティスクールの考え方を入れることを検討し、学校と地域の関係性が一方的なものではなく、双方向にメリットのあるものにしていきたい。
- ・古い教育にも良い部分があり、それについては活かしていくべきと考える。
- ・地域の人々に理解される学校づくりには、学校の現状を知ることがスタートになるのではないか。
- ・県教育委員会では、県立学校に「開かれた学校づくり委員会」が設置されているが、八千代市立の学校にはないので、そのような考え方も必要ではないか。
- ・1つ目の視点「豊かな心」については、地域での清掃活動等で育むことができる。
- ・2つ目の視点「現代社会における問題の解決に…」の「現代社会における問題」という言葉は見直しが必要ではないか。
- ・「地域と学校」「地域と子ども」どちらとつながっていくのか、わかりやすく示したい。

委員長 いくつか発表をいただきましたが、それと関連してもうひとつ義務教育学校の話をしていただきたい。成田市立下総みどり学園の清掃の様子を参観したことがあります。そこで

は、清掃活動が1～9年生までの縦割りで活動しており、昇降口を掃除していました。4月の段階で校長先生が回っていると、9年生が1年生を背負って掃除をしていたそうです。子どもたちは、6月には先輩に教えられて一人で掃除ができるようになっていたとお伺いしました。9年間の差というものはとても大きく、小中学生がともに生活する中で中学生は体の成長だけでなく、心も成長をしていく、義務教育学校はそんな環境なのだとお話を聞いて、感じました。

本日は、地域の方々から様々なご意見をいただきましたので、事務局には子ども目線で9年間の成長をどう受け止めてもらえるかを再考していただき、現在進行形で進んでいる学校もありますので、反映をしていっていただければと思います。

事務局 本日いただいたご意見を基に、事務局で再度案として出させていただきますので、協議していただければと思います。

委員長 引き続き、連絡事項があれば、事務局よろしく申し上げます。

事務局 八千代市通学区域審議会の担当よりご報告をさせていただきます。本年度の通学区域審議会は、6月に第1回を開催し、内容は「睦中学校・高津中学校の許可学区期間について」、「通学区域に対する要望について」審議いたしました。今年度あと2回開催予定であります。以上です。

事務局 次回予定につきましては、改めて通知を送らせていただきますので、ご確認ください。

委員長 長時間にわたる議論をありがとうございました。以上を持ちまして学校適正配置検討委員会を閉じさせていただきます。